

施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	5	快適な生活環境づくり		
	施策	4	上水道		

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○「名張市水道ビジョン」に基づき、水道水を安定的に供給するため、老朽化施設や老朽管の更新・改良を進めるとともに、耐震性の向上を図るなど、災害に強い水道施設を整備するほか、水質管理体制の充実により、安心して飲める良質な水道水を供給します。

2. 令和2年度 of 取組内容及びその成果



水道ビジョンの策定

・令和3年度～令和12年度を計画期間とする第2次名張市水道ビジョンを策定しました。

管路更新

・国道165号や県道蔵持霧生線及び桔梗が丘地区の老朽管を約4.6km更新し、耐震化を図りました。

施設管理

・水道水を安定的に供給するため、桜ヶ丘取水所の水質監視装置や大屋戸浄水場の無停電電源装置等を更新しました。また、梅が丘系施設の機械・電気設備更新時には、将来の水需要の減少を見込んだポンプ更新台数(3台→2台)と容量(114m³/h→67.8m³/h)のダウンサイジングを行いました。

・水質管理体制の充実を図るため、厚生労働省が実施する「水道水質検査精度管理のための統一試料調査(水質検査結果の評価試験)」に参加して、検査精度が最も良好とされる「第1群機関」に6年連続で評価されました。

事業運営

・将来にわたり安定した事業運営を進めるため、中長期的な視点に立った経営の基本計画となる経営戦略を策定しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
上水道サービスに満足している市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	77.6	
	成果	75.1	79.3	78.6	77.6			100.0%
経年化設備率(%) (浄水場対象)	目標	-	-	-	-	-	11.5	
	成果	12.5	12.5	12.5	12.5			0.0%
基幹管路における耐震管延長(m) (導水管・送水管・φ300mm以上配水管)	目標	-	-	-	-	-	10,500	
	成果	9,590	9,643	9,643	10,059			51.5%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



管路更新

・名張市水道ビジョンに基づき、上水施設や管路の老朽化した施設の更新及び耐震化に取り組んでいますが、経年化による管路等の更新需要は今後さらに増大していき、1980年に布設した管路は全管路の12%を占め、その更新時期を迎えます。

施設管理

・計画的に浄水場関係の機電設備の更新を行ったことで、水道統計による経年化設備率(浄水場対象)は、全国平均44%に対し12.5%ですが、今後は、水需要に合わせた施設のダウンサイジングや機器の長寿命化に取り組む必要があります。

・異常気象の発生頻度の増加に伴う河川水質変化に対応した浄水処理と大屋戸浄水場の取水閉塞対策が必要です。

事業運営

・人口減少や節水技術の進展により水需要が減少し、料金収入が減少傾向にあります。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和3年度以降)



管路更新

・令和3年度～令和12年度を計画期間とする第2次名張市水道ビジョンに基づき老朽化した施設の更新に計画的に取り組めます。

・名張地区や桔梗が丘地区、美旗地区などの老朽管を耐震管に更新することにより、耐震化等災害に強い水道施設の整備を推進します。

施設管理

・経年化した長瀬浄水場や青蓮寺ポンプ所の電気設備などの更新改良工事を計画的に推進します。

・河川水質変化による高濁度水に対応でき、薬品量の削減効果が見込める新薬品の高機能活性炭と高塩基凝集剤の導入を検討します。

・大屋戸浄水場取水閉塞対策として、堆積センサーと水中ドローンを導入し、取水口の堆積土砂を監視します。

・水安全計画の運用により、国の水質基準より厳しい市独自の目標値を設定し、カビ臭物質等の低減を図り、上水道サービスの満足度の向上に努めます。

事業運営

・令和3年度～令和12年度を計画期間とする名張市水道事業経営戦略により、今後増大していく施設更新費用の財源確保について、上下水道事業運営審議会の活用により検討を行い、将来にわたって安定した上水道サービスの提供が可能な事業運営に取り組めます。

施策を構成する主な事務事業

*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

*R2決算見込は、R1からの繰越額も含みます。

*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
水道事業会計	水道事業会計	上下水道部	経営総務室	水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等 (令和元年度繰越分) 資本的支出 265,173,700円 (令和2年度実績) 収益的支出 1,880,383,765円 資本的支出 553,023,654円 【参考】 繰越額 499,337,000円	2,698,581	93,944 (一般会計からの繰入金)	3,610,677	91,772 (一般会計からの繰入金)